

# 土構造物の要求性能の実現を目指した盛土締固め管理の合理化 に関する研究委員会

## 平成 29 年度 第 1 回 議事録

日時	平成 29 年 9 月 1 日 (金) 15:00~17:00				場所	(株)複合技術研究所					
委員長	龍岡 文夫	○	幹事長	平川 大貴	○	委員	毛利 栄征	○	委員	菊本 統	○
委員	橋本 隆雄	○	委員	並河 努	○	委員	菊池 喜昭	×	委員	木井 敦夫	○
委員	河田 雅也	○	委員	近江 健吾	○	委員	粕谷 悠紀	○	委員	富田 佑一	○
委員	田中 麻穂	○	委員	大森 慎哉	○	委員	佐藤 靖彦	○	委員	吉田 輝	○
委員	永井 裕之	○	委員	三反畑 勇	×	委員	藤原 斉郁	○	委員	松尾 修	○
委員	末岡 徹	○	委員	林 良樹	○	委員	Duttine Antoine	○	委員	荒井 靖仁 (福原 誠)	△
委員	金子 秀樹	○	委員	石田 剛朗	○	委員	曾田 英揮	○	委員	中村 洋丈	○
委員	石原 雅規	×	委員	渡辺 健治	○						

○：出席      △：代理出席      ×：欠席

### 【配布資料】

資料-29.1.1：委員名簿

資料-29.1.2：本委員会の活動について；

委員公募(会告)，

希望課題の一覧，

討議用資料[実務での基本的な締固め管理法(Proctor法)]

### 【議 事】

#### 1)委員紹介

#### 2)本委員会の目的、成果の公表、委員会の進め方(課題=WG)の説明および討議

#### 3)報告事項

- ・第 14 回地盤工学会関東支部発表会(GeoKanto2017)，研究委員会報告セッション  
2017 年 11 月 17 日(金)，栃木県総合文化センター(宇都宮市)

### 議事録

#### ● 議題 1.に関して(資料-29.1.1)

各委員の自己紹介がなされた。

#### ● 議題 2.に関して(資料-29.1.2)

##### 1)龍岡委員長より、本委員会の目的と委員会の進め方、および委員公募時で示された検討課題 1~7 の概要について説明がなされた。

本委員会では、盛土構造物の要求性能を満たすための土の締固め管理方法の問題点を整理し、それらを解決するための学術的および技術的方法の知見を集約することを目的とする。委員会は2カ月毎の開催を基本とする。委員からの話題提供~討議を行うことで問題点を見出すと共に、改善の方法の集約を目指す。3カ年の委員会活動期間終了時では、得られた知見を取りまとめて(公社)地盤工学会の書籍として刊行し、さらにシンポジウムを開催する。

##### 2)龍岡委員長より「実務での基本的な締固め管理法(Proctor法)」に関しての説明がなされ、盛土の施工管理の問題点とそれらを解決するための方向性に関する話題提供がなされた。また、平川幹事長より、委員から提案された検討課題 8 (外国での状況、締固め管理の運用法、I-construction との関連)が紹介され、これらへの討議が行われた。

- ・委員会終了時での刊行物のとりまとめの方向性は「学術・技術の進展を目指すもの」とし、マニュアル・ガイドライン的な書籍の実現の可否については議論を継続する。内容に関して、検討課題 1~8 の詳細は委員会での議論を通して検討内容を精査して行くこととし、委員からの提案課題につ

いても継続して募集～検討を行う。

- ICT を用いた締固め管理，対象構造物～設計・施工コンセプトの違い，等についての質疑を踏まえ，実施工での種々のバラつきの程度と要因，使用する建機と締固め方法，管理すべきパラメータの組み合わせとその測定方法，等に関しての意見交換がなされた。これらに関しては次回委員会で話題を提供して貰い，継続して議論を行う。

3) 次回委員会に関して

2017 年 10 月後半～12 月上旬で日程調整を行う。渡辺委員より「鉄道構造物の締固め」，中村委員より「締固めのバラつきの実測」に関しての話題を提供して頂く。

また，土の締固めに関して地盤工学研究発表会での発表内容をとりまとめ，その動向を確認する。

4) その他

平川幹事長より，第 14 回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2017, 2017 年 11 月 17 日開催) の研究委員会セッションに関する説明がなされた。本委員会においても研究委員会セッションに参加し，活動目的について龍岡委員長に発表する旨が報告された。

次回委員会(予定) : 2017 年 10 月後半～12 月上旬で調整

開催時間は 15:00～17:00，開催場所は(株)複合技術研究所会議室とする。

以上